TADOKU JUNIOR やさしい名作リーダー ★★☆☆☆ みじかい 260語

The Story of the Sheep

金のヒツジのお話

E. Louise Smythe（1904年の本） 原文そのまま 朗読：Sarah Jennings、Abby

人の声の朗読
を聞く・Web版

どんなおはなし？ ギリシャの王さまの二人の子どもの前に、金の毛のふしぎなヒツジがあらわれました。ヒツジのせなかに乗って空へとび立った二人は……。「金の羊毛」の物語の始まりです。

Greece

Helle

Long, long ago there lived a king in Greece. He had two little children, a boy and a girl.

They were good children and loved each other very much.

One day they were playing in the garden.

"Oh, Helle, look!" said the boy.

There on the grass was a fine large sheep. This sheep had a fleece of gold and his horns were gold, too.



The children wanted to pat the sheep, but they could not catch him. When they went near, he ran away on the clouds.

Every day they played in the garden and every day the sheep came, too.

By and by he grew tame and let the children pat his golden fleece.

One day the boy said, "Helle, let us take a ride."

First he helped his sister on the sheep's back.

Then he got on and held to the horns.

"Hold tight to me, Helle," he said.

Colchis

The sheep went up, up into the sky, and ran a long way on the clouds. But Helle got dizzy and fell down into the sea.

The boy felt very bad to lose his sister, but went right on.

Then he came to the land Colchis. He killed the sheep and gave the golden fleece to the king.



The king was glad to have it and nailed it to an oak tree.



By the tree was a dragon. The dragon never went to sleep. He would not let any one but the king come to the tree.

So no one could get the golden fleece.

ギリシャ

ヘレー

むかしむかし、ギリシャに王さまがいました。王さまには、男の子と女の子の、二人の小さな子どもがいました。

二人はよい子で、とてもなかよしでした。

ある日、二人は庭で遊んでいました。

「ねえ、ヘレー、見て！」と男の子が言いました。

そこの草の上に、りっぱな大きなヒツジがいたのです。このヒツジは金の毛をしていて、角も金でした。

子どもたちはヒツジをなでたかったのですが、つかまえることができませんでした。近づくと、ヒツジは雲の上を走ってにげてしまったのです。

毎日、二人は庭で遊び、毎日、ヒツジもやってきました。

そのうちに、ヒツジはなれてきて、子どもたちに金の毛をなでさせてくれるようになりました。

ある日、男の子が言いました。「ヘレー、乗ってみようよ。」

まず、男の子は妹をヒツジのせなかに乗せてあげました。

それから自分も乗って、角につかまりました。

「しっかりぼくにつかまっているんだよ、ヘレー。」と男の子は言いました。

コルキス

ヒツジは空へ上へ上へとのぼっていき、雲の上を遠くまで走っていきました。ところが、ヘレーは目が回って、海へ落ちてしまいました。

男の子は、妹をなくしてとても悲しみましたが、そのまま進んでいきました。

やがて、男の子はコルキスという国に着きました。男の子はヒツジをいけにえにして、金の毛皮を王さまにさし上げました。

王さまはそれをもらってよろこび、カシの木にくぎでうちつけました。

その木のそばには、りゅうがいました。りゅうは決してねむりませんでした。王さまのほかは、だれも木に近づけませんでした。

それで、だれも金の毛皮をとることができなかったのです。

たんご と クイズ 金のヒツジのお話

king 王さま	garden 庭	sheep ヒツジ
horns 角	clouds 雲	sea 海
dragon りゅう		

Q1 ふしぎなヒツジは、どこがみんな金でしたか？

① 毛と角　② 目と足　③ しっぽだけ

Q2 空を走るヒツジの上で、ヘレーはどうなりましたか？

① ねむってしまった　② 目が回って海に落ちた　③ 金の毛をぬいてしまった

こたえ

Q1 ① このヒツジは金の毛をしていて、角も金でした。この金の毛が「金の羊毛」です。

Q2 ② ヘレーは目が回って、海へ落ちてしまいました。お兄さんはとても悲しみました。

原田英語の多読ベストジュニア

本物の英語の絵本 1,000話以上を、原文・人の声の朗読・和訳つきで。ゲーム・なぞなぞも。ぜんぶ無料・登録なし。

haradaeigo.com/tadokubestjr/

出典 英文：原文そのまま（1語も書きかえていません）。Project Gutenberg 電子書籍 #7841（E. Louise Smythe、1904年）。パブリックドメイン。
挿絵：(1904 edition)（同じ本の初版の挿絵。パブリックドメイン）
朗読（Web版）：Sarah Jennings、Abby（LibriVox のボランティア。パブリックドメイン）
和訳・クイズ：AIと人が作成。AIは３重チェック。人の目でも順次確認しています。